

第61回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1998年10月30日（金）10:30～10:55

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 藤家委員長代理、遠藤委員、木元委員  
（事務局等）科学技術庁  
原子力局  
原子力調査室 森本室長、板倉、村上、池亀  
通商産業省資源エネルギー庁  
原子力発電課 牧野、青山  
吉鋪専門委員

4. 議 題

- （1）電源開発（株）大間原子力発電所設置に係る第1次公開ヒアリングについて
- （2）木元委員の海外出張について
- （3）その他

5. 配布資料

- 資料1 電源開発（株）大間原子力発電所設置に係る第1次公開ヒアリングの開催について
- 資料2 木元原子力委員の海外出張について
- 資料3 第60回原子力委員会定例会議議事録（案）

6. 審議事項

- （1）電源開発（株）大間原子力発電所設置に係る第1次公開ヒアリングについて

標記の件について、通産省より資料1に基づき説明があった。これに対し、使用する燃料は、全てMOX燃料なのか。

（通産省）当初、燃料のうち3分の1程度をMOX燃料で供給し、段階的に全量MOX燃料に移行すると事業者から聞いている。

等の委員の意見及び質疑応答があった。

- （2）木元委員の海外出張について

標記の件について、事務局より資料2に基づき説明があった。これに対し、もんじゅ事故等の情報が外国に伝わる時、報道機関の取り上げ方により事実と異なって伝えられることが多々ある。例えば、正確な情報を発信す

るための第三者的な機関の間で国際的な協力ができないか問題提起したい。  
等の委員の意見及び質疑応答があった。

### (3) 議事録の確認

事務局作成の資料3第60回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。

### (4) その他

10月29日に開催された核融合会議について

- ・核融合会議では、ITERに関する各国の状況をよく把握した上で、我が国の対応について責任を持って議論していただきたい。
- ・核融合の分野では、従来から国際協調を柱として協力を進めてきたが、情性に陥らないように気をつけることが必要。

等の委員の発言があった。